

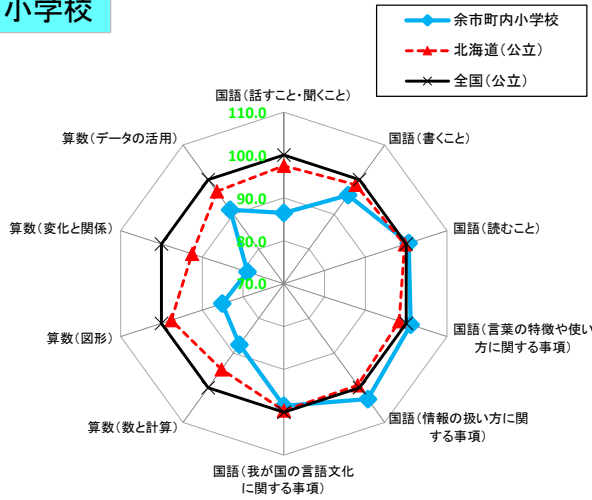
■余市町内の状況及び学力向上策（小学校数:3校、児童数:98人）（中学校数:3校、生徒数:102人）

【教科全体の状況】

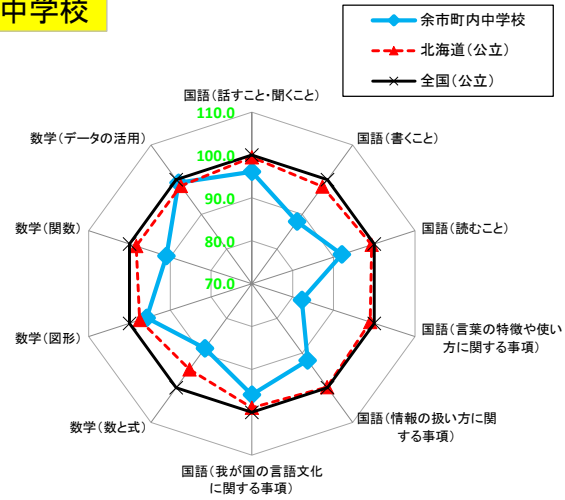
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	66	53
算数・数学	55	49

小学校

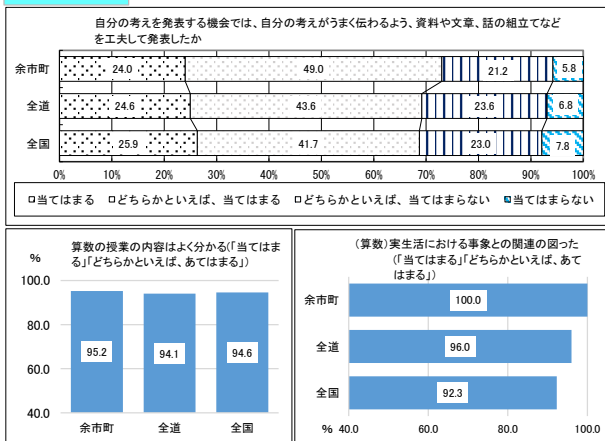


中学校

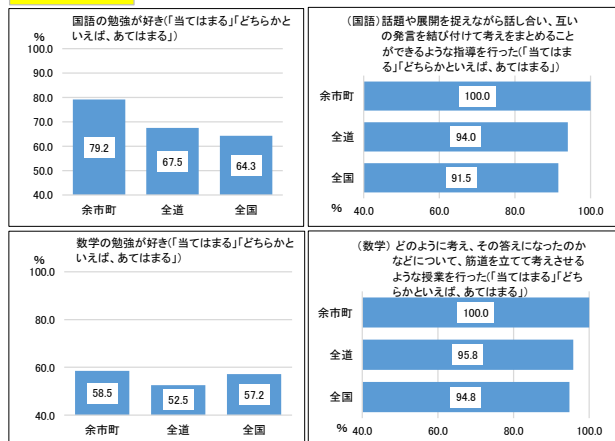


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

町全体で、国語科の授業改善に関わる研修会を定期的で開催するとともに、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の「読むこと」の領域、「言葉の特徴や使いに関する事項」「情報の扱いに関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、授業改善が図られ、算数の授業の内容はよく分かることと肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような授業を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の勉強が好きと肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の授業において、どのように考え、その答えになったのかなどについて、筋道を立てて考えさせるような授業を行ったことにより、授業改善が図られ、数学の勉強が好きと肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【余市町の学力向上策】

- ◎ 地域全体の学力向上に向けた全小・中学校の参加による新しいかたちの学び授業力向上推進事業(道教委事業)定例報告会の実施
- ◎ ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開
- ◎ 外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成